

槐

芥川龍之介



ゑんじゆ

槐と云ふ樹の名前を覚えたのは「石の枕」と云ふ一中節いつちゆうぶしの

じやうるり

浄瑠璃を聞いた時だつたであらう。僕は勿論一中節などを稽

古するほど通人つうじんではない。唯親父おやぢだのお袋おぶくだのの稽古なんしてゐるのを聞き覚えたのである。その文句もんくは何なんでも観世音菩薩くわんぜおんぼさつの「庭としへに年経ゑんじゆし槐こすゑの梢え」に現れるとか何なんとか云ふのだつた。「石の枕」は一つ家ひとやの婆ばあさんが石の枕おほいしに旅人を寝かせ、路用ろようの金を奪ふ為つに上から綱おほいしに吊つた大石おほいしを落して旅人の命を奪つてゐる、そこへ美しい稚児ちごが一人ひとり、一夜いちやの宿りを求めに来る。婆ちごさんはこの稚児ちごも石の枕おほいしに寝かせ、やはり殺して金をとらうとする。すると婆ちごさんの真名娘まなむすめが私ひそかにこの稚児ちごに想おもひを寄せ、稚児ちごの身代りになつて死んでしまふ、それから稚児ちごは観世音菩薩くわんぜおんぼさつと現れ、婆ちごさんに因果いんぐわ応報おうほうを教へる、この婆ちごさんの身を投げて死んだ池いまは未だせんさうじに浅草寺けいだいの境内うばに「姥の池」とな

槐

(大正十五年十月)

槐

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四巻」筑摩書房
1971（昭和 46）年 6 月 5 日初版第 1 刷発行
1979（昭和 54）年 4 月 10 日初版第 11 刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007 年 6 月 26 日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫
(<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。